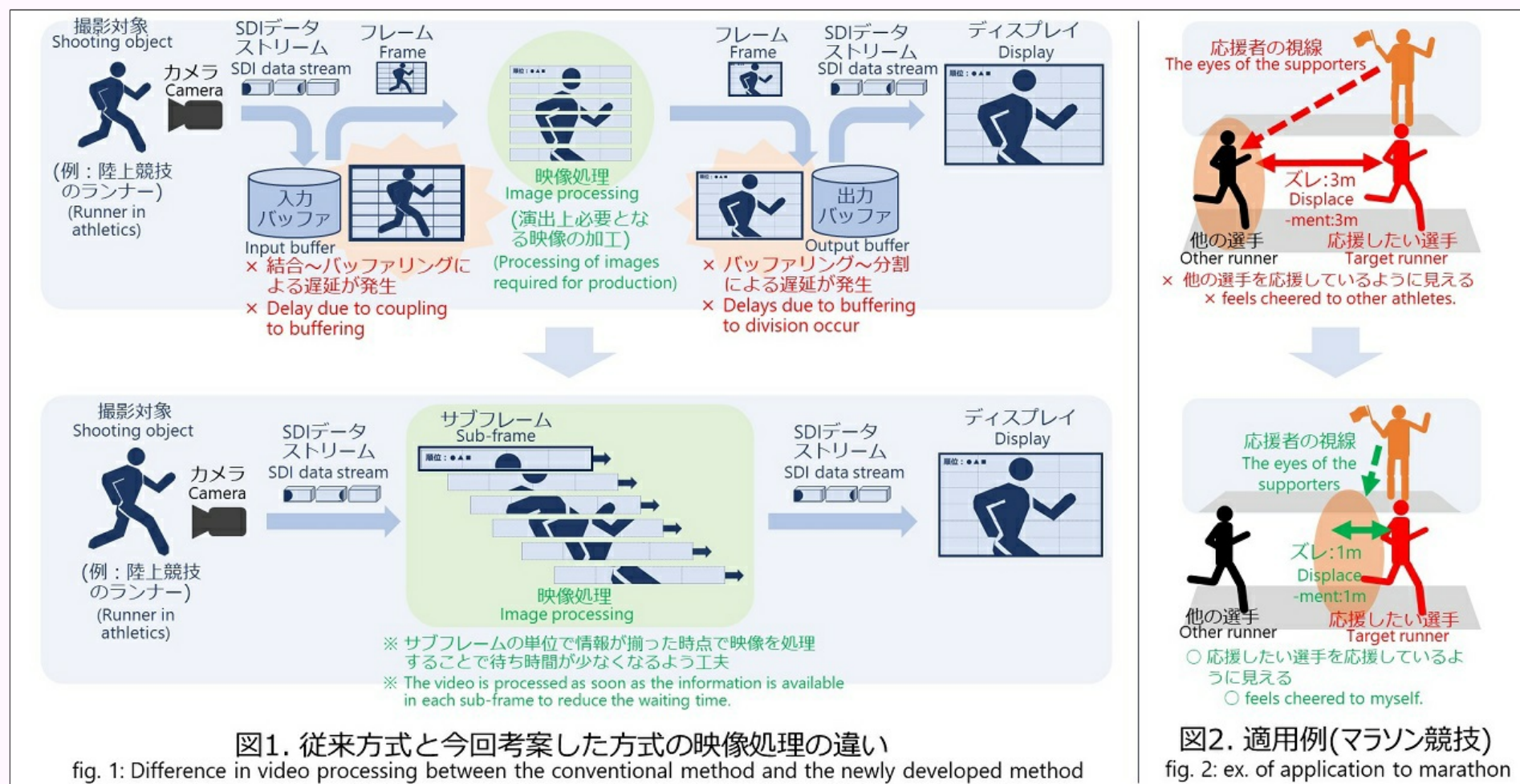




遠隔地から選手へ低遅延で応援する姿・声を届けることができます

概要

カメラから入力されたSDI映像信号に対して演出上必要となる編集処理を行う場合に、サブフレーム／ライン単位で信号を扱うことで、フレーム単位で処理していた場合に発生していた遅延時間を低減することに成功しました。特にスポーツ中継やエンターテインメントの領域などインタラクティブ性が重視されるシーンでの活用が可能です。



特徴

- 演出上必要となる拡大・縮小などの映像処理をサブフレーム単位で処理し超低遅延化を実現
- 複数カメラからの入力を集約・分離する処理も拡張などの処理と同時に実施し低遅延化

利用シーン

- スポーツ中継などのリアルタイムリモート観戦
- 音楽コンサートなどにおけるインタラクティブ性を保ったままの遠隔鑑賞

今後の展開

- 更なるチューニングによる低遅延化やSI・ネットワークサービスへの適用を検討しています。



出展社

日本電信電話株式会社